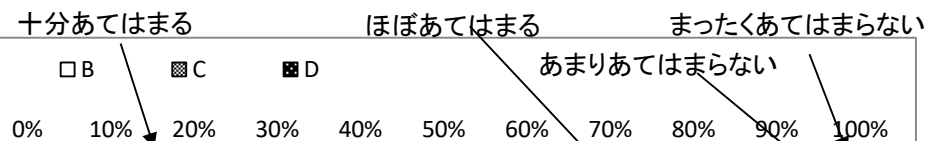


中小児童教育アンケート R5.1 実施



3年生以上で、後期の学校生活を振り返るアンケート調査を実施しました。

◇災害や事故対応についてのA評価は9割以上でした。「命を守る訓練」では、実施日を予告せず、自分のいる場所に応じた地震時の避難方法、また、出火場所を意識した避難経路を各自が考え、訓練を行いました。今後も、状況に応じて判断し、適切に行動できる児童の育成に努めていきます。

◇「なかよし班や通学班では、協力しなかよくした」「なかよし遊びなどの児童会活動は楽しい」では、前期同様、A・B評価がどちらも9割以上でした。特に、なかよし遊びにおいては、下学年が楽しめる遊びになるよう、6年生が計画的に準備を行い、楽しく触れ合うことができました。また、活動後に下学年が6年生に「楽しかったです。」「準備してくれてありがとう。」などと感謝の気持ちを伝える姿もいくつか見られました。来年度も、なかよし班での活動を通して、よりよい人間関係を育成し、学校生活の充実と向上を図る態度を養っていきます。

◇「思いやり・協力・命の大切さなど、道徳の授業や普段の生活の中でいろいろ学べた」では、A・B評価が95%でした。日々のすてきみつけやひびきあい活動を通して、仲間のよさを認め合える姿が多く見られました。今後も、一人一人の違いやよさを認め合い、思いやりのある人間関係の育成に努めていきます。

◆学習面では、「授業中は、進んで課題に取り組み、自分の考えを発表した」において、前期より少し達成率が上がったものの、まだ弱さが見られます。学習課題に対する自分の考えをもてるよう、前の学習内容との違いを明らかにしたり、教科書やノートを振り返り、既習の内容を活用しながら自分の考えをもったりできるよう、引き続き、指導・援助を行い、主体的に学ぶ授業づくりに努めていきます。